

平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人に対するシンジケートローンの組成について

当行は、カナディアン・ソーラー・グループがスポンサーとして出資するカナディアン・ソーラー・インフラ投資法人(東京都新宿区、執行役員 大竹 喜久)に対して、同投資法人が運用対象資産として大規模太陽光発電所(以下「メガソーラー」)合計 13 施設を取得するための資金として、金融機関 12 行の参加による総額約 177 億円のシンジケートローンを組成し、平成 29 年 10 月 31 日に実行いたしました。

カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人は、日本でのメガソーラーの開発、運営を行うカナディアン・ソーラー・プロジェクト株式会社(東京都新宿区、代表取締役 ジェフ ロイ)がスポンサーとなり、再生可能エネルギー発電所を主な投資対象とするインフラファンドで、平成 29 年 10 月 30 日に東京証券取引所(以下「東証」)に上場いたしました。同投資法人はカナディアン・ソーラー・グループが国内に有する、すでに稼働しているメガソーラー施設 13 か所(発電容量合計 72.7 メガワット)を取得する予定です。

今般のシンジケートローンはこれらの施設の取得資金として組成したもので、当行、株式会社みずほ銀行(東京都千代田区、取締役頭取 藤原 弘治)、株式会社三井住友銀行(東京都千代田区、代表取締役頭取 高島 誠)がアレンジし、これら 3 行を含めた合計 12 行が参加しております。

当行では、再生可能エネルギー事業向けを含むプロジェクトファイナンスを第三次中期経営計画における成長分野の一つと定め、高い専門性を活かし、国内外での広範な案件組成に注力するとともに、幅広い金融機関とのネットワークを活用したディストリビューションにも力を入れてまいりました。東証に上場している再生可能エネルギー発電所などを投資対象とするインフラファンドは同投資法人が 4 件目となり、今後も新たな投資法人の上場および上場投資法人による追加での再生可能エネルギー発電所などの取得が想定されます。当行では、プロジェクトファイナンスで培ったノウハウを活かし、こうした新たなマーケットでのファイナンスニーズへの対応も視野に入れ、今後も幅広い事業者のファイナンスニーズにお応えすることで、日本の再生可能エネルギーの安定的な成長を支援してまいります。

【カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人の概要】

名 称: カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人(コード番号 : 9284)
代 表 者: 執行役員 大竹 喜久
設 立: 平成 29 年 5 月 18 日
所 在 地: 東京都新宿区西新宿一丁目 25 番 1 号 新宿センタービル 33 階
資産運用会社: カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント株式会社
出 資 総 額: 170 億 41 百万円(平成 29 年 10 月 30 日現在)
主要な投資者: カナディアン・ソーラー・プロジェクト株式会社

【融資概要】

借 入 人: カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人
契 約 金 額: 約 177 億円
契 約 締 結 日: 平成 29 年 10 月 20 日
アレンジ(五十音順): 株式会社新生銀行(ブックランナー)、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行
エージェント: 株式会社新生銀行
貸付人(五十音順): 株式会社大分銀行、オリックス銀行株式会社、株式会社荘内銀行、株式会社新生銀行、株式会社栃木銀行、株式会社南都銀行、株式会社広島銀行、株式会社三重銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京 UFJ 銀行、株式会社りそな銀行

以 上